

地域再生計画評価調書(地方創生推進交付金事業効果検証調書)

地域再生計画の名称	「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進計画	地域再生事業の名称	「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進事業	平成30年度評価
-----------	------------------------------	-----------	------------------------------	----------

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

評価指標		基準年数値	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度					達成度についての分析
				2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	最終年目標数値 2018年	
目標1	観光入込客数	2,841 千人	目標	+29 千人 (2,870 千人)	+30 千人 (2,900 千人)	+40 千人 (2,940 千人)	+99 千人 (2,940 千人)	目標1の観光入込客数については、7月の豪雨の影響等を受け、前年度より8.5%下がった。 目標2のレンタサイクル利用件数についても、豪雨や台風の影響により、前年度より12.2%下がった。 目標3の外国人宿泊客数については、前年度より32.4%増加した。要因については、近年の日本のインバウンド誘客への注力と併せて、サイクリングを始めとするしまなみ海道や瀬戸内観光の取組に関する情報が各種媒体で取り上げられ、また、個人等のSNSで発信されることにより、瀬戸内しまなみ海道の海外での認知度が上がっていることが考えられる。
			実績	▲60 千人 (2,781 千人)	+37 千人 (2,818 千人)	▲239 千人 (2,579 千人)	▲262 千人 (2,579 千人)	
			達成度	▲206.9%	123.3%	▲597.5%	▲264.6%	
目標2	レンタサイクルの利用件数	67,012 台	目標	+2,988 台 (70,000 台)	+4,000 台 (74,000 台)	+5,500 台 (79,500 台)	+12,488 台 (79,500 台)	
			実績	▲4,664 台 (62,348 台)	+4,024 台 (66,372 台)	▲8,068 台 (58,304 台)	▲8,708 台 (58,304 台)	
			達成度	▲156.1%	100.6%	▲146.7%	▲69.7%	
目標3	外国人宿泊客数	15,540 人	目標	+320 人 (15,860 人)	+340 人 (16,200 人)	+360 人 (16,560 人)	+1,020 人 (16,560 人)	
			実績	+2,837 人 (18,377 人)	+2,529 人 (20,906 人)	+6,765 人 (27,671 人)	+12,131 人 (27,671 人)	
			達成度	886.6%	743.8%	1,879.2%	1,189.3%	

評価年度において実施した事業

事業名	愛媛県等と合同で設立したサイクリング施策推進のための各種協議会の運営費	総合戦略における位置づけ	基本目標:3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る 具体的施策:(ア)サイクルシティ構想の推進 取組:①サイクルステーション構想推進	事業費	53,969千円
事業概要		(1) サイクルトレインの運行 瀬戸内しまなみ海道利用促進のため、JR予讃線の松山・今治間及び西条・今治間で自転車をそのまま積み込むことができるサイクルトレインを運行しているしまなみサイクルトレイン利用促進協議会に負担金を支出。 (2) サイクリングガイドの養成 瀬戸内しまなみ海道を訪れるサイクリストやツアー客に対し、観光案内にとどまらず、サイクリングの行程管理や安全空間の確保、メカニッ的なサポートをするサイクリングガイドを養成する愛媛県サイクリングガイド養成推進協議会に負担金を支出。 (3) 国際サイクリング大会の開催 サイクリストの聖地としてのブランドイメージを高め、交流人口の拡大による地域の振興・活性化を図るため国際サイクリング大会を開催するサイクリングしまなみ2018実行委員会に負担金を支出。			
事業効果		(1) しまなみサイクルトレインは、春、4月1日から5月27日の土日祝日に20回、秋、9月8日から10月21日の土日祝日に16回、31年春、3月21日から3月31日の土日祝日に5回の計41回運行し、利用者数は441人であり、昨年度と比べて30.9%増加となった。 (2) サイクリングガイド養成講習会を8回実施し、参加者に対しサイクリングガイドに必要な法知識の習得及び実走にあたっての誘導方法の訓練を行い合わせて延べ62名が受講した。そのうち5人が公益財団法人日本サイクリング協会が認定するサイクリングガイド検定を受検し、1人が合格した。サイクリングガイドを養成することにより、多様化する団体のツアーガイド要請に対応が可能となったり、旅館・ホテル業の付加価値サービスとして提供することによる雇用の場の創出又は移住者の起業など新たなビジネスの展開が可能となる。 (3) 平成30年10月28日に国際サイクリング大会サイクリングしまなみ2018が開催され7,215人が参加した。海外からも26の国と地域から過去最高の701人の参加があった。今回は4年に一度の大規模大会であり、国内で唯一、通行止めにした高速道路を走るイベントであるため、募集開始からすぐに定員に達する状況であり、日本のみならず、アジアを代表するサイクリングイベントになりつつある。いよぎん地域経済研究センターが算出した経済効果は、9億3,298万円となっている。			

事業名	「愛媛サイクリングの日」イベント運営委託料	総合戦略における位置づけ	基本目標:3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る 具体的施策:(ア)サイクルシティ構想の推進 取組:②サイクルツーリズム構想推進③おもてなし構想推進④サイクルプロモーション構想推進	事業費	990千円
事業概要		県、市町が協働して「チーム愛媛」でサイクリングに関するイベントを県内各地で開催することによって、健康・生きがい・友情を育む「自転車新文化」を普及するとともに、内外に広く発信することにより交流人口の拡大を図るために「愛媛サイクリングの日」を平成27年度から設定し、県内の全市町において一斉に、サイクリングに親しみ楽しめるイベントを開催している。今治市においては、11月11日に「バリライドフェス2018」を市内ショッピングモール及び各地で開催。ツール・ド・玉川の一部を使ったサイクリングイベントや著名な女性サイクリストのトークショー、市内のチェックポイントをスマホアプリを使って巡るスタンプラリー等を実施した。その他、サンライズ糸山において子ども用レンタサイクル無料貸出を同日開催した。 ■委託先:第一印刷株式会社			
事業効果		市内外から1,240人の参加があり、交流人口の拡大に一定の効果があつた。また、市民の方々に対しても、市内スタンプラリーやトークショー等を通じて自転車に親しみ、サイクリングを楽しむ体験の場を提供することができ、スポーツ自転車乗りのすそ野を広げることに効果があつた。			

外部有識者からの意見	
(意見) ・今治駅周辺において、サイクリストの玄関口に相応しい環境整備を進めて欲しい。	